

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 公衆栄養活動論実習

（ 2025 年 7 月 日作成）

氏名 板屋 智子

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、推 論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
栄養アセスメントの手法 公衆栄養マネジメント 地域アセスメント実習 ①地域・社会集団の健康・栄養状況の 情報収集 ②地域アセスメントの実施 ③全国・都府県・各市との比較分析 ④各種統計・疫学アセスメント ⑤国民健康・栄養調査、健康日本21 等の結果の把握 ⑥各種事業統計、事業内容の実態把 握等		地域診断により、自身の 出身市町村の健康・栄養 課題がわかる。	地域アセスメントの結 果をアセスメントシー トにまとめる。	アセスメントシート に従い、自身の出身 市町村について地域 診断を行う。 ・地域の健康課題を 抽出する。 ・地域の総合計画、 健康増進計画、人口 動態調査など既存資 料から地域課題を抽 出する。 課題の優先順位付け ができる。	地域アセスメント資料の 提出	
		パワーポイントを使って 健康・栄養課題が説明で きる。	発表者は、地域アセス メントと健康課題につ いて、効果的なプレゼ	プレゼンテーション資料 の提出	発表者は、地域アセス メントと健康課題につ いて、効果的なプレゼ	

			ンテーションを考え、 パワーポイントによる 発表原稿の作成と発表 ができる。		パワーポイントによる発 表（1/2 の学生）	ンテーションを考え、 パワーポイントによる 発表原稿の作成と発表 をする。
母子領域若しくは成人老人領域の事 業計画書の作成 ①母子保健事業 ②歯科保健事業、 ③成人老人保健事業 ④食育推進事業 ⑤特定健康診査・特定保健指導（集 団・個別） ⑥がん検診等 ⑦健康教育・健康相談など ⑧法的根拠 ⑨評価方法		地域の母子保健事業・食 育推進事業、成人老人保 健事業等を把握・分析 し、法的根拠及び評価方 法が説明できる。	地域の健康課題を解決 するための公衆栄養プ ログラムの事業計画案 を作成し、目標設定や 評価方法についてまと めることができる。	プリシード・プロシ ードモデル等を使っ て計画案を考えるこ とができる。 目標設定や評価方法 を検討する。	事業計画書の提出	地域の健康課題を解決 するための公衆栄養プ ログラムの事業計画案 を作成する。
		パワーポイントを使って 事業計画案が説明でき る。	発表者は、地域の健康 課題に基づく事業計画 案について、効果的な プレゼンテーションを 考え、パワーポイント による発表原稿の作成 と発表ができる。		プレゼンテーション資料 の提出 パワーポイントによる発 表（1/2 の学生）	発表者は、地域アセス メントと健康課題につ いて、効果的なプレゼ ンテーションを考え、 パワーポイントによる 発表原稿の作成と発表 をする。
健康行動に導くためのリーフレット の作成		事業計画案に基づいたリー フレットが作成でき、 その内容が説明できる。 活用場面を考えることが できる。	事業計画案に沿った内 容の、住民に伝わるわ かりやすいリーフレッ トについて考え作成を 行う。	ポピュレーションア プローチを意識した リーフレットについ て考え作成する。	リーフレットの提出	ポピュレーションアプ ローチを意識したリー フレットについて考え 作成する。
食事調査の自己分析と評価 ・国民健康・栄養調査の実施方法 ・健康日本 21（第三次）の概要		自身の食事記録を通し て、国民健康・栄養調査 の方法の理解と、信頼性	秤量法による自身の食 事記録をし、評価をす る。	・食事摂取基準によ る個人の摂取量の自 己分析と評価を行 う。	提出物 ・食事記録（7日間） ・食事摂取基準による評 価（ワークシート）	

・食事摂取基準 2025 年版		の高い調査や誤差について理解し説明ができる。食事摂取基準による個人の摂取量の評価ができる。	・食事摂取基準による個人の摂取量の評価を行う。		・健康日本 21(第三次)の目標に基づく評価(ワークシート)	
食事調査の自己分析と評価 ・食事バランスガイドの理解と活用 ・「健康な食事」の理解と提案		食事バランスガイドを活用した食事記録の評価について理解する。	自身の食事を用いて、食事バランスガイドの理解と改善のためのアドバイスを考える。	食事バランスガイドによる食事の自己分析を行う。	ワークシートの提出 ・食事バランスガイドによる評価と食生活改善アドバイス	自身の食事を改善し、「スマートミール」の基準に基づいたバランスメニューを作成する。
		「健康な食事」と「スマートミール」が理解でき、使うことができる。	自身の食事を使って、バランスメニューの改善提案ができる。	「スマートミール」の基準に基づき、自身の食事を改善した献立を検討する。	ワークシートの提出 ・「健康な食事」に基づく評価 ・スマートミールに基づく食事の改善提案	
特定健診・特定保健指導		特定健診・特定保健指導について理解する。モデルケースを使った特定保健指導の階層化ができ、食生活改善のアドバイスができる。	モデルケースの健診結果と生活習慣の記録を用いて、行動変容に導くためのアドバイスについてグループで話し合い、発表する。	モデルケースの記録を用いて、健康課題、改善ポイントについて、具体的な提案をグループで考える。	アドバイスシートの提出(グループ毎)	
エネルギー調整		密度法、残差法によるエネルギー調整の意味と計算方法を理解する。	クラスの食事記録結果を用いて、密度法、残差法によるエネルギー調整の演算を行う。	エネルギー調整前後の栄養摂取量のランキングを行う	演習シートの提出	

食事摂取量の集団の評価		食事摂取基準による集団の評価ができる。個人との違いがわかる。	エネルギー調整前後の集団の食事摂取量の評価を行う。	エネルギー調整前後の集団の食事摂取量の評価を行う。		
-------------	--	--------------------------------	---------------------------	---------------------------	--	--